

エキスパートの 治療法

— 症例から考える —

胃癌に対する膵頭十二指腸 切除術について

回答

国立がん研究センター中央病院胃外科 和田剛幸 片井 均
Takeyuki WADA Hitoshi KATAI

科長

症例 >>>>

編集部註：本稿は2016年9月に執筆されました。

年齢性別 68歳，女性

主訴 心窩部不快感

現病歴 高血圧にて近医受診中。以前より時々上記主訴を自覚し，他院を受診し上部消化管内視鏡検査を施行。胃角部小彎に3型腫瘍を認め，生検でGroup5,por2であり，手術目的にて当科紹介となった。

既往歴 48歳，視神経炎
67歳～高血圧症（内服加療中）

所見 上部消化管内視鏡（EGD）（**図1**）：胃角部小彎を中心とし，体下部～前庭部小彎に

広がる周堤を伴った不整な潰瘍病変あり。上部消化管造影（UGI）（**図2**）：胃角の開大，壁の不整像を認めた。胸部腹部骨盤部造影CT（**図3-A～C**）：胃体下部から前庭部にかけて造影効果を伴った壁肥厚を認め，No.3a（短径11.0mm），No.6（15.6mm，13.3mm），No.8a（14.9mm）のリンパ節の腫大を認めた。その他遠隔転移は認めなかった。

経過 L-Less，3型，por2，cT4a(SE)，cN2，cM0，cStageⅢBと診断し手術へ。術中所見でNo.6リンパ節が膵頭部に浸潤していたが，他に非治癒因子がなかったため膵頭十二指腸切除術を施行した。



図1 EGD